

2022年2月25日

受益者の皆さまへ

アセットマネジメント One 株式会社

当社ファンドの基準価額下落について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社が設定するファンドのうち以下ファンドの基準価額が本日大きく下落いたしましたので、お知らせいたします。

※ 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものととして算出していますので、実際の投資家利回りとは異なります。

【基準価額 5%超下落ファンド】(注)

ファンド名	基準価額(円)	前日比(円)	騰落率
ハイブリッド証券ファンドロシアルーブルコース	3,881	▲463	▲10.66%
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	1,708	▲151	▲8.12%
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	2,839	▲214	▲7.01%
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー(通貨選択型)トルコリラコース	2,116	▲158	▲6.95%
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>	1,013	▲75	▲6.89%
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	4,424	▲292	▲6.19%
ハイブリッド証券ファンドトルコリラコース	2,287	▲127	▲5.26%

(注) DC(確定拠出年金)専用ファンド、ETF、純資産総額1億円未満のファンド、ブルベア型ファンド等を除く。

次ページ以降に基準価額の変動要因となった主な市況の動向および今後の見通しについて記載しておりますのでご参照ください。

なお、上記ファンドにつきましては、今後の状況を注視しつつ運用を行ってまいりますので、引き続き当社投資信託をご愛顧頂きますようお願い申し上げます。

当資料は3枚ものです。P.3の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」をご確認ください。



商号等：アセットマネジメント One 株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

1. 市況の動向

2月24日、ロシアのプーチン大統領は、ロシア国営テレビを通じて緊急演説し、ウクライナ東部で「軍の特殊作戦を開始する」と表明し、ウクライナへの軍事侵攻を開始しました。これを受け、新興国債券市場は総じて大幅下落となり、外国為替市場では円高が進みました。

【市場データの騰落率等】

	前日比	騰落率	取引終了値
FTSE Emerging Markets US Dollar Government Bond Index	▲31.16	▲3.5%	847.48
豪ドル/円	▲0.44	▲0.5%	82.77 円
トルコ リラ/円	▲0.15	▲1.9%	8.15 円
ロシア ルーブル/円	▲0.04	▲2.6%	1.37 円
南アフリカ ランド/円	▲0.07	▲0.9%	7.53 円

※海外債券指数の値は2月24日時点、為替市場は2月24日時点の取引終了値

※海外債券指数の前日比と騰落率は、2月23日時点からの変化を算出

※豪ドル/円、トルコ リラ/円、ロシア ルーブル/円および南アフリカ ランド/円の前日比がマイナスの場合は、豪ドル安円高、トルコ リラ安円高、ロシア ルーブル安円高および南アフリカ ランド安円高を意味

※ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

2. 今後の見通し

2月24日、主要7カ国(G7)首脳はロシアによるウクライナ侵攻を巡って緊急会議を開催しました。共同声明では、ロシアによる侵攻を「深刻な国際法違反」と批判しており、今後欧米地域からの厳しい制裁は免れないとみられます。G7はこれまでロシアとの交渉の余地を残していたものの、ロシアがウクライナ侵攻に踏み切ったことにより、外交による緊張緩和は難しくなったとの見方が広がっており、金融市場は当面リスクオフの展開が続くと考えられます。

- ※ 前記の市場の動向は、過去の実績であり将来の運用成果等を保証するものではありません。また、今後の見通しは、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。
- ※ 「FTSE Emerging Markets US Dollar Government Bond Index」は、は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券(リート)などの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

●投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料: 上限3.85%(税込)

換金時手数料: 換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額: 上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬): 上限 年率2.09%(税込)

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料: 上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用(上限額等を含む)を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメント One 株式会社 が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

●当資料は、アセットマネジメント One 株式会社 が作成したものです。

●当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

●当資料は、アセットマネジメント One 株式会社 が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

●当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

●投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。